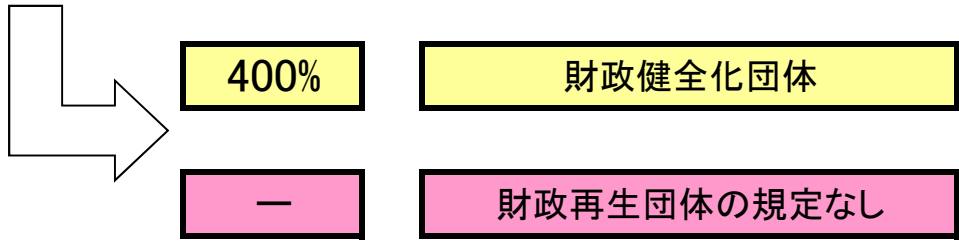


将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき
実質的な負債の
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、
従来の決算になかった退職給与引当金等を負債と見なし算出



熊本市の将来負担比率

将来負担比率	=	将来負担額 (地方債残高・退職給与引当金等)	-	・ 充当可能基金額 ・ 充当特定財源見込額 ・ 基準財政需要額算入見込額
		標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)	-	元利償還金、準元利償還金に係る基準財政需要額算入額

$$\frac{437,022 \text{ 百万円} - 270,501 \text{ 百万円}}{152,134 \text{ 百万円} - 19,256 \text{ 百万円}} = 125.3\%$$

* 参考: 平成22年度決算

441,113 百万円	-	268,890 百万円	=	135.7%
145,712 百万円	-	18,848 百万円		

早期健全化ライン（400%）を下回っている